

# 日本遺産を生かすために 小浜市文化財保存活用地域計画を作成

**文化財は「保存」から「活用」へ**

これまで、各地に残る伝統行事や建築物といった文化財は、保存・継承していくことが重要視されてきました。しかし、近年は全国的に文化財を保存するだけでなく、地域振興や観光交流などに活用する方針へと変わりつつあります。

その目的は、人々が文化財に触れる機会を増やし、地域の歴史や文化に対する理解を深めることや、経済的な利益によって地域社会を発展させ、持続可能な保存につなげることにあります。

**全国に先駆けて地域計画を作成**

市では、平成30年に文化財保護法が改正されたことを受け、文化財の保存・活用について方針を定める「小浜市文化財保存活用地域計画」を全国に先駆けて作成しました。

計画では、地域の宝である文化財を守り伝え続けるために、観光客や研究者といった文化財に興味を持つ人と、地域住民、行政が連携して、文化財の保存と活用を両立した地域づくりに取り組むことを目指して、今後10年間の整備や活用の方針を示しています（下図参照）。

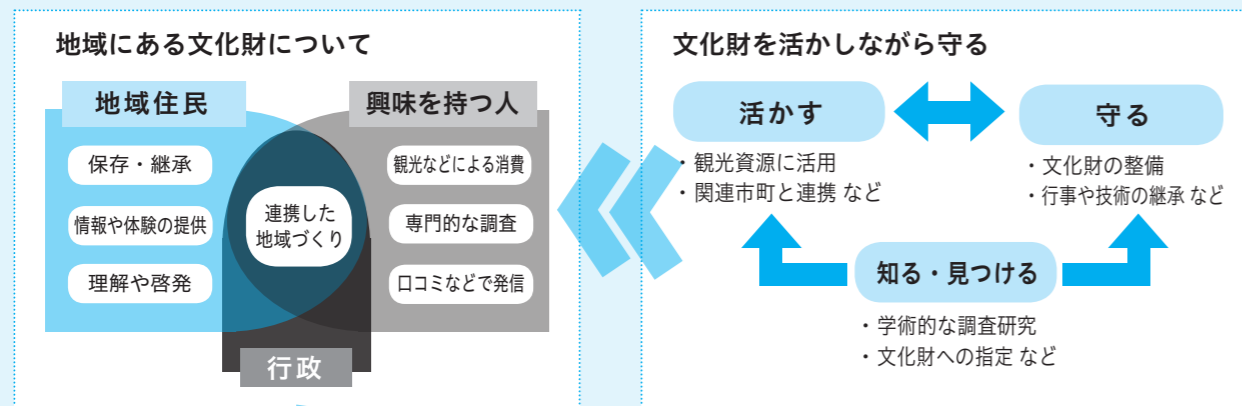


# ふたつの日本遺産を 生かしたまちづくり

■問い合わせ 文化課 ☎64・6034

## 計画の概要（イメージ）

地域住民、文化財に興味を持つ人、行政が連携  
ストーリーを活かして、活用と保存を両立



## 小浜の歴史文化をまとめた5つのストーリー

- 人と自然とのたゆまぬ共生**
  - 小浜湾が生む景観
  - 蒼島暖地性植物群落
  - 若狭蘇洞門 など
- 御食国若狭の成立**
  - 製塩遺跡群
  - へしこなれずなどの伝統食の製造技法 など
- 神仏習合の社寺と暮らし**
  - 多田ヶ岳一帯に広がる社寺群
  - お水送りなどの行事 など
- 京へつながる鯖街道**
  - 起点 小浜の湊町
  - 最古の鯖街道 針畑峠
  - 文化財の道 周山街道 など
- 海に開かれた小浜城下町**
  - 伝統的な町並み
  - 祭りや伝統産業
  - 城下町の歴史と文化 など

市では、日本遺産を生かしたまちづくりに取り組んでいるほか、官民が連携した取り組みや、住民主導の取り組みも盛んに行われており、こうした活動は全国からも注目を浴びています。今回は、2つの日本遺産を生かしたまちづくりの取り組みについて特集します。



北前船寄港地・船主集落追加認定を祝うセレモニー（平成30年5月24日・食文化館）

**2つの「日本遺産」がある小浜**

国では、平成27年、地域に残る文化財や伝統文化、背景にある歴史的経緯などを「物語」としてまとめ、その魅力を国内外に発信し観光交流や地域活性化に活用する制度「日本遺産 (Japan Heritage)」を開始しました。

本市は「海と都をつなぐ若狭の往来文化遺産群（御食国若狭と鯖街道）」が日本遺産第1号として認定され、30年には「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間（北前船寄港地・船主集落）」にも追加認定。県内で唯一、ふたつの日本遺産をもつ地域となりました。

# 海と都をつなぐ若狭の往来文化遺産群 （御食国若狭と鯖街道）

## ものがたり

本市を含む若狭地方は、古代より都へ塩や海産物を運ぶ「御食国」として栄え、都の食文化を支える物流の要となった街道は「鯖街道」と呼ばれました。



小浜で獲れた魚は一塩されたあと、一昼夜かけて京の都へと届けられた

また、若狭は大陸から日本列島へと続く「海の道」と、都へと至る「陸の道」鯖街道がつながる拠点でもありました。人々の行き来により伝わった食や芸能、建物、工芸などの文化は、今なお私たちの生活の中に息づいています。

## 活用の取り組み

鯖街道の「はじまり」を生かす

「起点の地」をスタートラインに

市内では、鯖街道の「起点」いづみ町商店街（広峰）から「終点」京都出町商店街を目指して、街道の踏破を目指すマラソンやウォーキングイベントが行われています。中でも「鯖街道ウルトラマラソン」は、平成7年から続いており、日本遺産認定を契機に鯖街道の活用に関わる住民団体が結束して、全国から集まったランナーをもてなすイベントを実施しています。



市民団体主催の「鯖街道体験ウォーキング」でいづみ町商店街を出発する参加者（平成30年5月12日）

再び食材と食文化の発信地に

かつて小浜は、大量のサバが漁獲されて京都へと運ばれ、今や京料理の定番となった「鯖寿司」や、郷土料理の「へしこ」をはじめとする数多くの食文化を生んだ、食材と食文化の発信地でした。

市では、日本遺産認定を契機に、官民が連携して最先端の情報通信技術を用いたサバ養殖に取り組む「鯖、復活プロジェクト」を開始。このプロジェクトからは、京都の酒蔵から仕入れた酒かすを混ぜたえさで育てた「小浜よつばらいサバ」が誕生しました。酒かすを与えることで生まれた独特の風味は、首都圏や京都の料理店などからも好評を博しており、小浜が再び食の発信地として注目をされています。

起点の地から鯖街道を発信！

## 「鯖街道ミュージアム」がオープンします！

いづみ町に「鯖街道ミュージアム」がオープンします。鯖街道のルートを表現したポケットパークや、飛び出すサバのトリックアートなど、誰もが楽しめる仕掛けがいっぱいの博物館です。

3月8日④の「鯖の日」に合わせ

て同館のオープニングイベントを行います。みなさんの来場をお待ちしています！

【イベント概要】

11時～記念式典、テープカット  
11時38分～オープン、展示説明

※先着100人にクリアファイルをプレゼント



完成予想図。日本遺産のガイダンス施設の手前にポケットパークを配置

## 【特集】ふたつの日本遺産を生かしたまちづくり



「丹後街道にぎわいフェス」では修験者が街道を案内（平成31年3月2日・若狭彦神社）

古民家を改修したまちづくり拠点施設「ふるさと茶屋 清右エ門」（池田）では、地区内を通る鯖街道の一部「丹後街道」の歴史や景観を生かしたまちづくりイベント「丹後街道にぎわいフェス」など、多種多様なイベントを開催。また、近年ハイカーたちに人気の針畑峠登山道には、案内看板の設置や、休憩所「助太郎」（上根来）を整備するなど、地域をあげて鯖街道を生かしたまちづくりを進めています。

## 鯖街道の「道のり」を生かす

街道沿いで地域をあげたおもてなし

遠敷地区では、住民が中心となって、鯖街道を盛り上げるさまざまな取り組みを実施しています。

## 鯖街道の「つながり」を生かす

世界とつながる鯖街道

日本在住の外国人が、動画や写真で京都の伝統文化や名所を海外へ発信する「Discover Kyoto」が寄せられている同編集部のSNS「Kyoto Fan」では、京都以外で唯一、本市を紹介。京都との関係性や、歴史や自然の魅力が世界中に発信されています。

世界中に小浜の魅力伝えたい

新鮮な魚介や美しい海、仏像など重要な文化財を間近に拝観できる神社仏閣、にぎやかな放生祭、人の優しさとおもてなしに触れられる小浜が大好きです。私たちが感動したこのまちを日本の遺産として世界中に知ってもらいたいです。

編集部から本市へメッセージ



Discover Kyoto 編集部のメンバー

## 声

まちづくりに取り組む人たちの



遠敷丹後街道まちなみ保存推進会  
芝田明和さん（66歳・池田・写真右）  
赤崎弘明さん（50歳・池田・写真左）

活動を通じて 地域が持つ可能性を感じた

私たちは、遠敷の歴史情緒あふれる景観の保存と活用のため、これまで清右エ門を拠点に、伝統行事に合わせた企画展示や、ウォーキングイベントの休憩所として参加者をもてなすなど、さまざまな催しを行ってきました。

県内外から訪れた大勢の人々の喜ぶ顔を見ると、「遠敷」という地域が持つ可能性を感じてうれしくなります。

地元の若者が、催しに参加したことをきっかけにその後の活動にも加わるなど、活動による好循環も生まれており、地域の連帯を生むことにもつながっています。

鯖街道でつながるエリアが共同開催

## 「鯖街道の日プロジェクト」を実施します！

3月の第2日曜日は「鯖街道の日」！小浜から京都市大原を経て、出町商店街へと至るまでの沿線エリア一帯が連携して、沿線各所の道の駅など6カ所で鯖街道の歴史を楽しむイベントを同時開催します。

小浜会場イベント概要

【とき】3月8日④9時30分～15時  
【ところ】道の駅「若狭おばま」（和久里）  
【内容】各地の特産品や鯖街道スーブの販売、サバにちなんだ各種イベントなど  
【問い合わせ】道の駅「若狭おばま」☎56・3000

若狭高校生が開発したJAXA宇宙日本食認証のサバ缶も販売するよ！（数量限定）





# OBAMA STORY LOOP

## ～港町若狭小浜日本遺産フェスティバル～

3月7日④・8日④と、14日④・15日④の2週にわたって、「日本遺産」をテーマに市内の各所をつないださまざまな体験や名物を提供するイベントを開催します！

今回、インタビューに応じてくれたみなさんをはじめ、日ごろ、日本遺産を生かしたまちづくり活動に取り組む各種団体が、力を合わせて2つの日本遺産の魅力をPRします。

### 3.7(sat) 3.8(sun) 鯖街道ウィーク



7日④ 8時～12時

#### 海の駅にぎわい朝市

川崎エリアで、青果の競り見学や七輪焼き、アンコウ汁などを楽しみましょう

7日④ 18時～20時

#### 旭座前夜祭

「未来へ・宇宙へつながる鯖街道」  
「へしこ博士」小坂教諭（若狭高校）の講演会と、鯖街道の未来を語るタウンミーティング

8日④ 10時～15時

#### 遠敷丹後街道 まちなみ賑わいフェス

鯖街道のまち遠敷の幸がいっぱい！雪室で貯蔵した日本酒やしし鍋を楽しみましょう

8日④ 13時～14時30分

#### 港町まちあるき探検 ～古地図を手に小浜湊を歩く～

古地図を片手に、我が国最大級の港町だった小浜を歩きます。先着20人。

8日④ 11時～12時

#### 鯖街道ミュージアム オープニングイベント

鯖街道の魅力を発信する拠点が、起点のいづみ町にオープン。詳しくはP4

8日④ 14時～16時 申

#### 旭座上方落語会

桂 塩鯛、林家小染ほかの名人芸をお楽しみに。まちの駅旭座 ☎52・1000 まで要事前申込

6日④～7日④

#### 小浜から都へ！ 鯖運び復活プロジェクト

有志でつくる「鯖街道ランナーズ」が、往時と同じ一昼夜で京都まで小浜よばらいサバを運びます

### 3.14(sat) 3.15(sun) 北前船ウィーク

14日④ 10時～16時 申

北前船に出会う  
ローカルラーニングツアー  
カメラを通じて北前船のゆかりの地や街並みなどの歴史文化に触れるツアー

14日④ 10時～12時 申

#### 若狭瓦ワークショップ

若狭から北前船で運ばれた主要産品「若狭瓦」の置物作りを体験します

15日④ 14時～

#### KITAMAE 浪漫

護松園を舞台に、全国の寄港地を巡るチェンバロ奏者、明菜みゆきさんのコンサートを行います

15日④ 10時～15時

#### 旭座！北前船大集合

県内外の寄港地6市町が名物販売などのブースを出展します

14日④ 10時～16時  
15日④ 11時～12時

#### みなと KURA cafe&gallery

北前船の歴史を感じる津島倉庫で、カフェと若狭瓦などの展示会を開きます

ほかにも、両日ともさまざまなイベントが！

護松園の特別公開、食文化館の企画展示「北前すごろく」、各会場をめぐるスタンプラリーなどを実施します

※ 申は事前申込が必要。詳しくは文化課まで問い合わせてください（旭座上方落語会については、まちの駅）

# 荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間 北前船寄港地・船主集落

## ものがたり

日本海や瀬戸内海沿岸には、積み荷で商いをして巨万の富を築き、「動く総合商社」といわれる「北前船」の寄港地や船主集落となつた港町が点在しています。

これらの港町には、荷とともに各地の人や文化も運び込まれたことで、遠方にも関わらず、まちのつくりや祭礼・芸能などに多数の共通点が見られ、独自の魅力があります。



北前船の廻船問屋、古河屋の邸宅「護松園」。建物や庭園が県文化財に指定されている

## 活用の取り組み

北前船がもたらした技術を生かす

賢と技術の粋を極めた邸宅跡

北塩屋区には、北前船の船主で、日本有数の廻船問屋でもあった古河屋の邸宅「護松園」（旧古河屋別邸）の一部が残されています。特別公開の際には、贅を尽くしてしつらえたふすま絵や、高度な建築設計のもとで柱を少なくし、庭を広く見渡せる縁側などを見ることが出来ます。

現代に伝わる帆船の技術

北前船の寄港地では、荷として運ばれる生産物の産業が発展すると同時に、造船や修理の技術も大いに発展しました。

本市でも造船業が栄え、市内神社に残る北前船の模型「船玉」や明治時代の船団の写真など貴重な資料の数々は、全国で木造船の研究や復元に活用されています。

往年の主要産業を後世に伝える

かつて、市の主要産業として隆盛を誇り、北前船で全国各地へと出荷された若狭瓦。市内はもちろん、北海道小樽市などでも、昭和初期ごろまでに建てられた建物の屋根瓦に利用されています。

口名田地区には、この若狭瓦を生産した「だるま窯」が今も残っており、地元有志が窯の保存や、瓦の産地であったことを伝承することに力を注いでいます。



復元された「だるま窯」。形状が達磨大師が座禅を組んだ姿に似ていることから名付けられたといわれる

## 声

まちづくりに取り組む人たちの



桑田テント株式会社  
桑田 博敏 代表取締役  
(51歳・清滝)

小浜の歴史や技術を後世へ

当社は、小浜にも寄港した北前船の復元船「みちのく丸」など古い帆船の復元や、全国の寄港地や大学が連携した学術研究に携わっています。

古くから日本海側最大の港として栄えた小浜が持つ歴史の魅力や優れた技術を掘り起こし、後世へ伝えていきたいですね。

貴重な遺構に触れられる環境を

国内で15基ほどしか残っていないとされるだるま窯のうち、2基が口名田地区にあり、本会が平成26年に1基を復元してからは、全国の研究者が視察に訪れています。

ゆくゆくはもう1基の復元や周辺整備を行い、誰もが貴重な遺構に触れる環境をつくりたいと思っています。



若狭だるま窯を守る会  
藤本 重博 代表  
(71歳・谷田部)